

地域で暮らす障害当事者が語る 私の生きかた、私の思い。



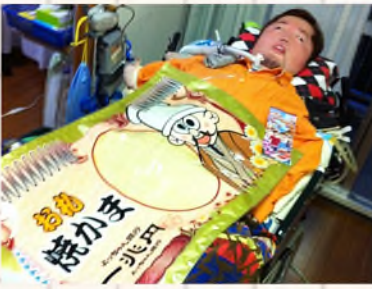
File-06
THIS IS STRICTLY
"CONFIDENTIAL"

講演テーマ

- 人工呼吸器をつけて地域で暮らす これが私の生きる道
- 続けたい！ 快適な一人暮らし
- 地域で暮らすってオモロイやん！
- 夢をもって、つながりの中で生きる
- 私のこれまで、○歳の今、そしてこれから
- みんなといっしょ、勉強も遊びも …… など

医療的ケアを必要としながら
地域生活を送っている障害当事者が
講師としてうかがいます。
企業、行政、学校、各種団体などの
研修・講演会にどうぞお声がけください。

講師プロフィール



折田 涼 (おりた りょう)

1989年生まれ。人工呼吸器をつけて地域の保育所、小・中学校、高校に通い、現在は親元を離れて自立生活を送っている。学校時代に感じた人と人のつながりの大切さや、医療的ケアは生活支援行為であることを広く知ってもらいたいと、全国で講演活動を行っている。

北村佳那子 (きたむら かなこ)

1988年生まれ。胃ろう、口腔内吸引が必要。地域の小・中学校、高校で過ごし、関西大学に聴講生として5年通う。グループホームで暮らし、働くことにこだわり生きている。現在は「いのち」、「共に学んできたこと」などの講演活動をしている。



岸本 彩 (きしもと あや)

1988年生まれ。2011年より一人暮らしを始め、2012年に気管切開。吸引と経管栄養のケアは欠かせないので、地域で暮らし続けるにはたくさんの介助者が必要。私たちをサポートしてくれる介助者の養成研修に力を入れて活動している。多くの人に私のこと、医療的ケアのことを知ってもらえるとうれしい。

巽 康裕 (たつみ こうすけ)

2005年生まれ。24時間人工呼吸器をつけている。ぼくにとって呼吸器は特別なものじゃなく、みんなのメガネと一緒に、体の一部。地域の小学校に入学し、友だちもたくさんできて、毎日楽しく通っているよ。これからも休まず、元気に通いたいな。



平本 歩 (ひらもと あゆみ)

1985年生まれ。生後6カ月で人工呼吸器をつける。地域の保育園、小・中学校、高校と通い、現在は一人暮らし。卒園した保育園で講師をしているほか、医療的ケアを受けながらのおいたちや生活状況、学校生活、交通バリア問題などをテーマに講演を行っている。



当事者とともに行う医療的ケア研修会も実施しています。

●お問い合わせは

特定非営利活動法人 ポムハウス

〒562-0013大阪府箕面市坊島4-5-20

みのお市民活動センター内

TEL&FAX 072-721-5150

E-Mail info@pomhouse.org

URL <http://www.pomhouse.org/>

医療的ケアを必要とする人も、みんな“地域であたりまえに暮らしたい”と願っています。しかし現状では、退院できない、施設に入所せざるを得ない、家族介護に頼らざるを得ないなどの課題があります。子どもの場合、幼稚園・保育所・地域の学校に入るのを拒まれたり、親の付き添いを求められたりすることもあります。ポムハウスは、誰もが地域で自立した生活ができるよう、当事者が主体となって活動しています。